



# ScanSurveyTablet ユーザーガイド

---

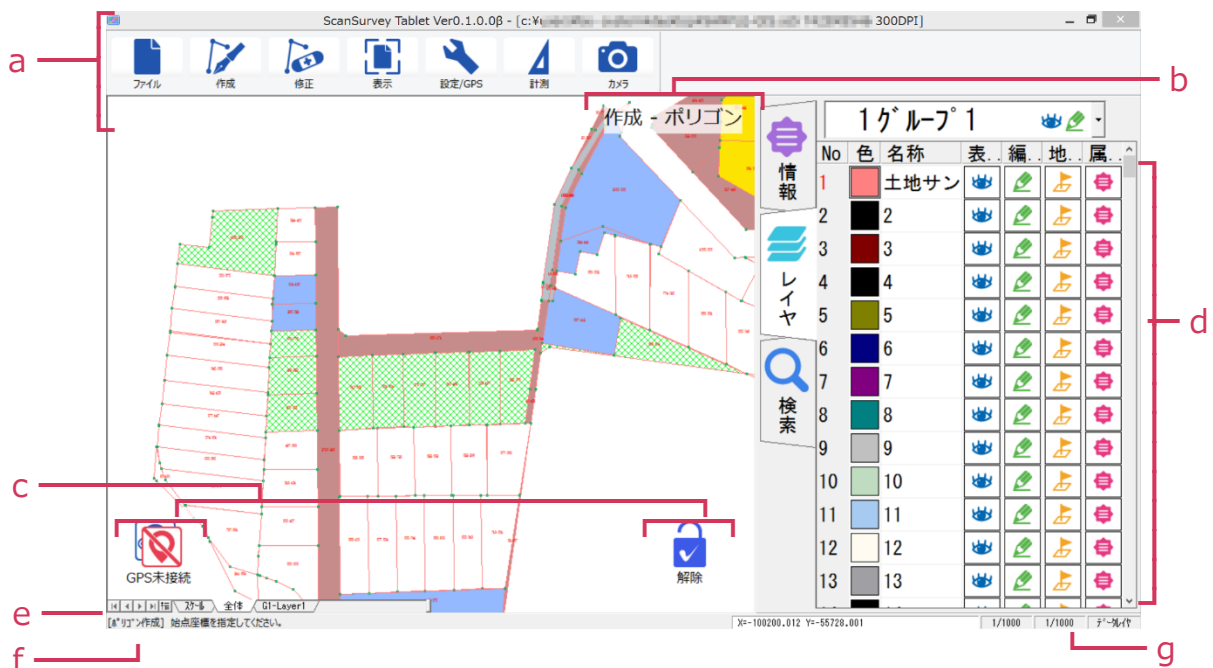
ユーザーガイドでは ScanSurveyTablet の機能を紹介しています

## 目次

1.1	画面図解.....	3
1.2	タッチパネルの操作.....	4
1.3	ウィンドウ一覧.....	4
1.3.1	情報ウィンドウ.....	4
1.3.2	レイヤウィンドウ.....	5
1.3.3	検索ウィンドウ.....	6
1.4	よく表示されるコマンドアイコン.....	6
2.1	開く.....	7
2.2	上書き保存.....	7
2.3	名前をつけて保存.....	7
2.3.1	パスワードの設定方法.....	8
2.3.2	パスワードが設定されたファイルを開く方法.....	9
2.4	画像読み込み.....	10
2.5	SHP 読み込み.....	10
2.6	SHP 書き込み.....	10
2.7	終了.....	10
3.1	ポリゴン/ポリライン/ポイント.....	11
3.2	GPS - 連続観測/ポリライン/ポイント.....	11
3.3	テキスト.....	12
3.4	手書きメモ.....	12
4.1	頂点移動/頂点追加/頂点削除.....	13
4.2	図形移動/図形削除.....	13
4.3	元に戻す/やり直し.....	13
4.4	分筆/合筆.....	14
4.5	ポリゴンレイヤ移動.....	14
4.6	色情報変更.....	15
5.1	画像(ラスタ)/図形(ベクタ).....	16
5.2	電子国土.....	16
5.3	ジオスペース.....	16
5.4	階層ラスタ切替.....	17
5.5	全体図/基本画面設定/基本画面表示.....	17
5.6	情報表示.....	17
6.1	環境設定.....	18
6.1.1	設定 1.....	18
6.1.2	設定 2.....	19
6.1.3	設定 3.....	20
6.2	GPS 設定.....	21
6.2.1	GPS 色設定手順.....	22
6.3	GPS ナビ.....	24
7.1	距離/面積.....	25
8.1	カメラ.....	26

# 第1章 基本・編集・操作

## 1.1 画面図解



- **a.メニューバー**：作業に必要なメニューを表示
- **b.現在のメニュー**：現在選択しているメニューを表示
- **c.コマンドアイコン**：メニュー選択中に操作可能なアイコンを表示※
- **d.ウィンドウ一覧**：情報ウィンドウ、レイヤウィンドウ、検索ウィンドウを表示
- **e.レイヤタブ**：レイヤタブを表示※
- **f.オペレーションバー**：オペレーションの名称・操作手順を表示
- **g.ステータスバー**：座標、経緯度、図面縮尺などを表示

※ 初期設定では非表示になっています。[\[設定/GPS\]メニュー](#)の環境設定等で、表示のon/offが可能です。

## 1.2 タッチパネルの操作

- **タップ**： 選択/決定/描画 など。マウス操作の左クリックに相当
- **ドラッグ**： スクロール など。マウス操作の右ドラッグに相当
- **ピンチイン / ピンチアウト**： 拡大縮小 など。マウス操作のホイールに相当
- **ダブルタップ**： 開く など。マウス操作の左ダブルクリックに相当
- **ホールド(長押し)**： 解除 など。マウス操作の右クリックに相当

## 1.3 ウィンドウ一覧

### 1.3.1 情報ウィンドウ

選択しているオブジェクトの情報を表示します。

値を入力・変更することもできます。

項目	値
字コード	001
地番	316-11
面積	1008.980 m <sup>2</sup>

情報  
レイヤ  
検索

### 1.3.2 レイヤウインドウ

レイヤを表示します。

オブジェクト等は設定したレイヤに作成します。ダブルタップでレイヤを選択すると設定できます。

設定されているレイヤは No.数字の色を変更しています。初期設定では No.1 に設定されています。



- **a.グループレイヤ**： グループレイヤをリストから選択
- **b.表示**： レイヤの表示/非表示の切り替え
- **c.編集**： 編集可/不可の切り替え
- **d.地番**： 地番の表示/非表示の切り替え
- **e.属性**： 属性の表示/非表示の切り替え

全体的な表示/非表示の設定は[環境設定]を参照してください。

### 1.3.3 検索ウィンドウ

検索を表示します。条件を入力してオブジェクトを検索できます。

- **条件クリア** : 入力情報を消去
- **検索実行** : 検索を実行
- **対象** : 情報ウィンドウの情報の項目
- **値** : 検索する値を入力
- **条件** : AND、OR の検索条件追加

条件クリア		検索実行	
対象	値	条件	
字コード	001	and	
地番	304-81	or	
名称			

### 1.4 よく表示されるコマンドアイコン



- **a.GPS 接続中** / **b.GPS 未接続** : GPS 接続の on/off 切り替え。GPS レイヤがない場合はグループレイヤ 28 番に作成※
- **c.確定** : 操作を確定
- **d.戻す** : 一つ前の操作に戻す
- **e.解除** : オペレーションを解除。解除したあとは一つ前のオペレーションに戻る

※ 初期設定では非表示になっています。[\[設定/GPS\]メニュー](#)の環境設定等で、表示の on/off が可能です。

## 第2章 [ファイル]メニュー

### 2.1 開く

[ファイル]メニュー→[開く]で、ScanSurveyVC5 ファイル(ss5)を読み込みます。

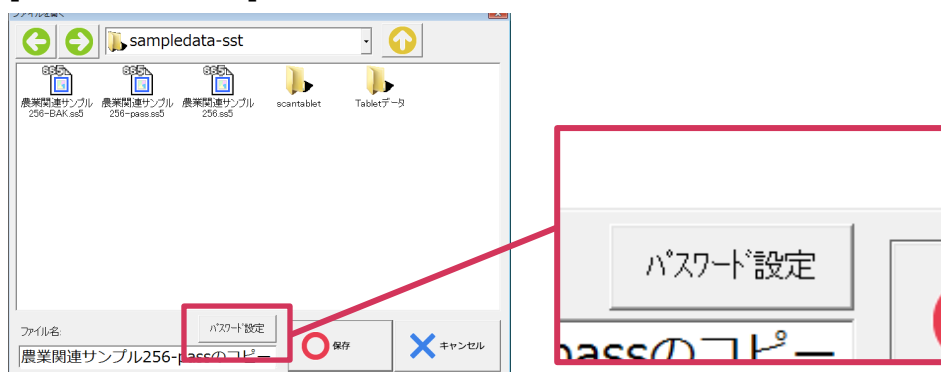
### 2.2 上書き保存

[ファイル]メニュー→[上書き保存]で、ファイルを上書き保存します。

### 2.3 名前をつけて保存

[ファイル]メニュー→[名前をつけて保存]で、別のファイルとして名前を付けて保存します。

[パスワード設定]で読取パスワード、編集パスワードをファイルに設定できます。

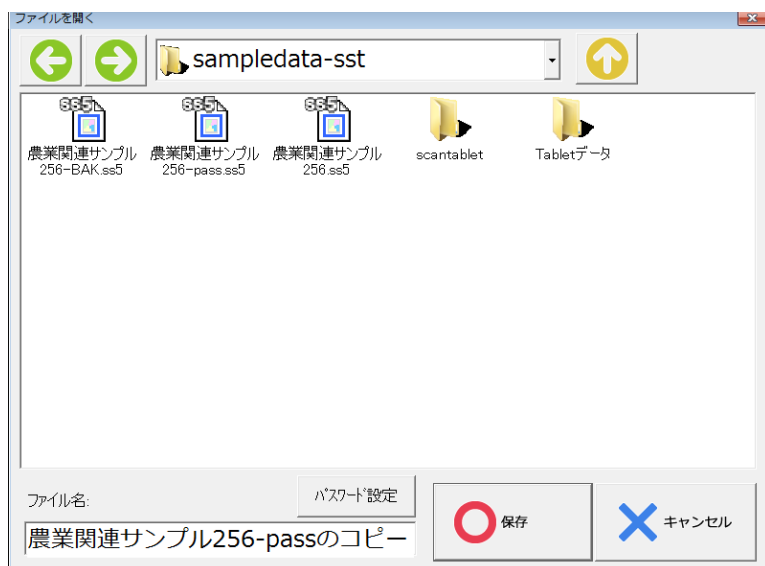


### 2.3.1 パスワードの設定方法

1) ファイルを開き、ツール> [名前をつけて保存]を選択します。

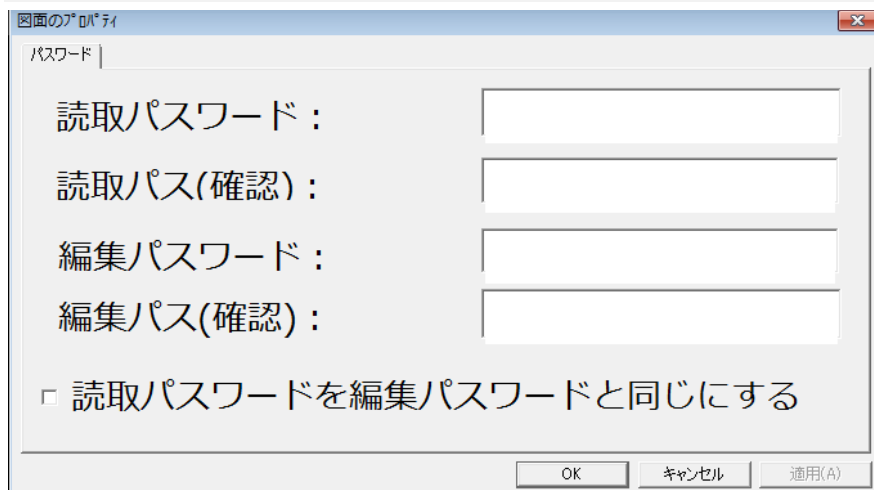
2) [ファイルを開く]ウィンドウが表示されます。

ファイル名を任意に入力してください。



3) [パスワード設定]を選択します。

4) [図面のプロパティ]ウィンドウの[パスワード]タブが表示されます。





## 5) パスワードを入力します。

読取パスワードと編集パスワード設定できます。

- **読取パスワード**： ファイルを開くときに必要なパスワードです。
- **編集パスワード**： ファイルを編集するときに必要なパスワードです。
- 読取パスワードと編集パスワードは同じにすることができます。

## 6) [OK]を選択します。

パスワード設定後、[ファイルを開く]ウィンドウで[保存]を選択してください。

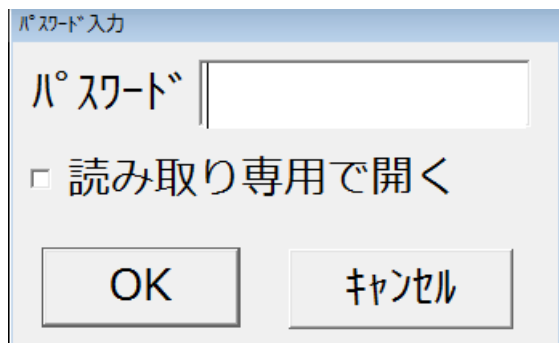
### 2.3.2 パスワードが設定されたファイルを開く方法

#### 1) パスワードが設定されたファイルを開きます。

#### 2) [パスワード入力]ウィンドウが表示されます。

パスワードを入力します。

- 読み取り専用で開く場合はチェックボックスをオンにし、設定した読取パスワードを入力してください。



## 2.4 画像読み込み

[ファイル]メニュー> [画像読み込み]で、画像ファイルを読み込みます。

### 読み込める画像ファイル形式

---

- TIFF ファイル(tif)
- JPGE ファイル(jpg)
- BMP ファイル(bmp)
- PNG ファイル(png)

## 2.5 SHP 読み込み

[ファイル]メニュー> [SHP 読み込み]で、SHAPE ファイル(shp)を読み込みます。  
すでにデータファイルを開いている場合は結合します。

## 2.6 SHP 書き込み

[ファイル]メニュー> [SHP 書き込み]で、SHAPE ファイル(shp)を書き込みます。

## 2.7 終了

[ファイル]メニュー> [終了]で、ScanSurvey データを終了します。

## 第3章 [作成]メニュー

作成の操作方法はオペレーションバーに表示されていますので参考にしてください。

### 3.1 ポリゴン/ポリライン/ポイント

[作成]メニュー>[ポリゴン]/[ポリライン]/[ポイント]で、オブジェクトを作成できます。

- **ポリゴン**：ポリゴンを作成
- **ポリライン**：ポリラインを作成
- **ポイント**：ポイントを作成

オブジェクトは設定しているレイヤに作成します。初期設定ではレイヤ No.1 に設定しています。

### 3.2 GPS - 連続観測/ポリライン/ポイント

[作成]メニュー>[GPS - 連続観測]/[GPS - ポリライン]/[GPS - ポイント]で、GPS 観測を使用しオブジェクトを作成できます。

- **GPS - 連続観測**：GPS を連続して観測。観測した地点をポリゴンで作成
- **GPS - ポリライン**：観測した地点を元にポリライン作成。3 点以上だとポリゴンも作成可能
- **GPS - ポイント**：観測した地点を元にポイント作成

GPS オブジェクトは GPS レイヤに作成します。GPS レイヤがない場合は、グループレイヤ 28 番を使用して作成します。



GPS 観測中は GPS が接続中に切り替わります。

### 3.3 テキスト

[作成]メニュー> [テキスト]で、テキストを入力できます。  
[環境設定]でテキストの設定を変更できます。

### 3.4 手書きメモ

[作成]メニュー> [手書きメモ]で、手書きメモを作成できます。

- **手書きメモ**：手書きメモ
- **消しゴム**：消しゴム

手書きメモはレイヤ 256 番に作成します。  
[環境設定]で作成するレイヤの変更や設定の変更ができます。

## 第4章 [修正]メニュー

修正の操作方法はオペレーションバーに表示されていますので参考にしてください。

### 4.1 頂点移動/頂点追加/頂点削除

[修正]メニュー> [頂点移動]/[頂点追加]/[頂点削除]で、オブジェクトの頂点の修正ができます。

- **頂点移動** : オブジェクトの頂点を移動
- **頂点追加** : オブジェクトの頂点を追加
- **頂点削除** : オブジェクトの頂点を削除

### 4.2 図形移動/図形削除

[修正]> [図形移動]/[図形削除]で、オブジェクトの図形の修正ができます。

- **図形移動** : オブジェクトの図形を移動
- **図形削除** : オブジェクトの図形を削除

### 4.3 元に戻す/やり直し

[修正]メニュー> [元に戻す]/[やり直し]で、オブジェクト編集操作を元に戻したり、やり直したりすることができます。

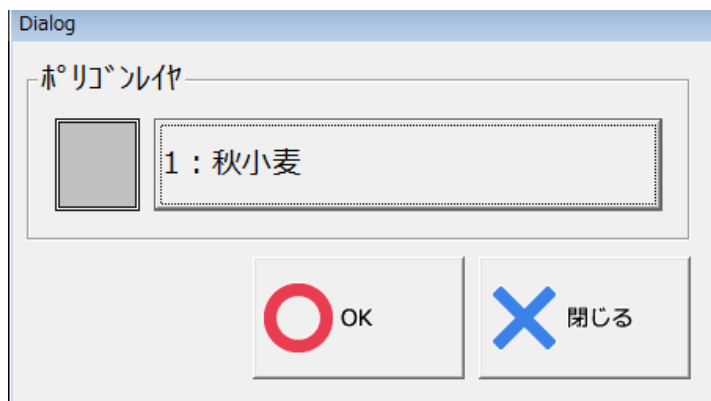
## 4.4 分筆/合筆

[修正]メニュー> [分筆]/[合筆]で、オブジェクトを分割/合成できます。

- **分筆**： オブジェクト(画地)を分割
- **合筆**： オブジェクト(画地)を合成

## 4.5 ポリゴンレイヤ移動

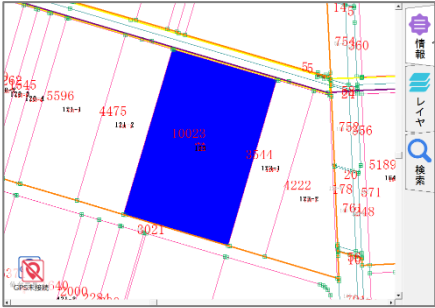
[修正]メニュー> [ポリゴンレイヤ移動]で、ポリゴンレイヤを任意のレイヤに移動できます。



## 4.6 色情報変更

[修正]メニュー>[色情報変更]で、オブジェクトの色と情報を、ポリゴンレイヤに設定されている色と情報に変更できます。

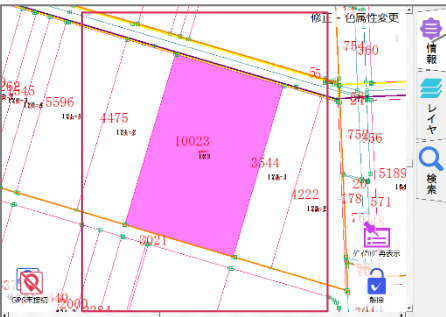
**変更前**



項目	値
字コード	050 50
地番	122
耕作者名	日井八郎
番地	123
作物名	
大字	
字	
面積	10023 m <sup>2</sup>

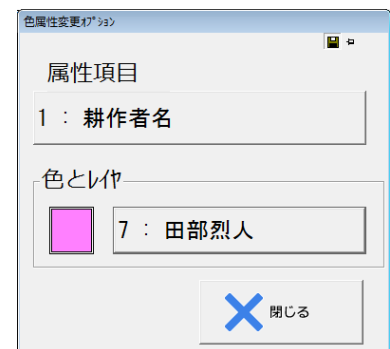


**変更後**



項目	値
字コード	050 50
地番	122
耕作者名	田部烈人
番地	123
作物名	
大字	
字	
面積	10023 m <sup>2</sup>

- **属性項目**：SS5 に設定されている属性項目に上書き。  
※[属性項目]は[情報]の地番から面積の間が該当
- **色とレイヤ**：SS5 に設定されているポリゴンレイヤの色に上書き。  
※ ポリゴンレイヤは ScanSurveyVer.5 で設定できる機能



## 第5章 [表示]メニュー

### 5.1 画像(ラスタ)/図形(ベクタ)

[表示]メニュー> [画像(ラスタ)]/[図形(ベクタ)]で、ラスタ画像を表示します。

- **画像(ラスタ)** : ラスタを表示
- **図形(ベクタ)** : ベクタを表示

### 5.2 電子国土

[表示]メニュー> [電子国土]で、電子国土を表示します。

### 5.3 ジオスペース

[表示]メニュー> [ジオスペース]で、ジオスペースを表示します。

ジオスペースを表示するには GEOSPACE CDS のユーザーID と認証キーが必要です。  
詳しくは GEOSPACE CDS 公式サイトをご確認ください。

設定については[環境設定]を参照してください。

※ ジオスペースはオプション機能です。



## 5.4 階層ラスト切替

[表示]メニュー> [階層ラスト切替]で、ラストを切り替えます。

## 5.5 全体図/基本画面設定/基本画面表示

[表示]メニュー> [全体図]/[基本画面設定]/[基本画面表示]で、画面表示を行います。

- **全体図**： 図面の全体を表示
- **基本画面設定**： 現在の表示を設定
- **基本画面表示**： [基本画面設定]の設定を表示

## 5.6 情報表示

[表示]メニュー> [情報表示]で、属性情報を表示します。

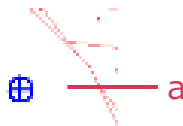
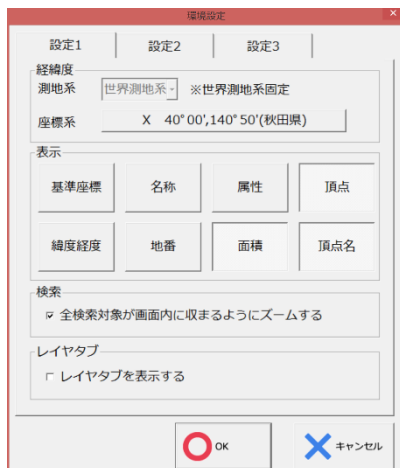
[環境設定]の表示/非表示設定と連動しています。

## 第6章 [設定/GPS]メニュー

### 6.1 環境設定

[設定/GPS]メニュー> [環境設定]で、環境設定を行います。

#### 6.1.1 設定 1



- **経緯度**：座標系をリストから選択。測地系は[世界測地系]で固定
- **表示**：以下の項目の表示/非表示を設定
  - **基準座標**：a.基準座標
  - **名称**：オブジェクトの名称
  - **属性**：オブジェクトの属性全体
  - **頂点**：オブジェクトの頂点
  - **経度経度表示**：ステータスバーに経度経度(経度経度非表示時は座標)
  - **地番**：オブジェクトの地番
  - **面積**：オブジェクトの面積
  - **頂点名**：オブジェクトの頂点名

- **検索** : 検索直後のズーム on/off 設定
- **レイヤタブ** : オペレーションバー上部にレイヤタブ表示の on/off 設定

## 6.1.2 設定 2

環境設定

設定1 | 設定2 | 設定3

作成 - テキスト

縦: 20 mm 横: 0 mm

文字列: TEXT ※0なら縦と一致

作成 - 手書きメモ

太さ: 10 レイヤ: 256

写真加工 - テキスト

サイズ: 10 文字列: TEXT

写真加工 - 手書きメモ

太さ: 10

OK キャンセル

- **作成 - テキスト** : テキストサイズや初期文字列を設定
- **作成 - 手書きメモ** : 手書きの太さ、描画するレイヤを設定
- **写真加工 - テキスト** : 写真加工時のテキストサイズや初期文字列を設定
- **写真加工 - 手書きメモ** : 写真加工時の手書きの太さを設定

### 6.1.3 設定 3

環境設定

設定1 | 設定2 | 設定3

GEOSPACE CDS

ユーザーID

認証キー

参照する地域ブロックを選択してください。

- 北海道
- 北日本
- 東日本
- 西日本
- 九州

OK キャンセル

ジオスペースの設定を行います。

[ユーザーID]と[認証キー]を設定すると GEOSPACE の表示が可能です。

詳しくは GEOSPACE CDS 公式サイトをご確認ください。

## 6.2 GPS 設定

[設定]メニュー→[GPS 設定]で、GPS の設定を行います。

The screenshot shows the 'GPS設定' (GPS Settings) dialog box. It is divided into several sections:

- GPS機能を使用** (Use GPS function): Checked.
- 内蔵GPSセンサーを使用** (Use built-in GPS sensor): Checked.
- COMポート設定** (COM Port Settings):
  - ボーレート (Baud rate): 9600
  - ポート (Port): COM1
  - データ長 (Data length): 7bit and 8bit buttons.
  - パリティ (Parity): 無し (None), 奇数 (Odd), 偶数 (Even) buttons.
  - ストップビット (Stop bits): 1 and 2 buttons.
- データ取得設定** (Data Acquisition Settings):
  - GPS受信データ取得間隔 (GPS reception data acquisition interval): 1 秒 (1~999) (1 second (1~999)).
  - 1秒未満はパソコンに依存 (Depends on PC for less than 1 second).
  - GGAタイプ (GGA type): GPGGA.
- データ自動確定設定** (Data Auto-confirmation Settings):
  - GPS観測データ自動確定 (GPS observation data auto-confirmation): 0 回 (0~99) (0 times (0~99)).
  - ※値が0の時は自動確定しません (Note: Auto-confirmation is not performed when the value is 0).
- 追加ダイアログ表示設定** (Additional dialog display settings):
  - ターミナル (Terminal)
  - 衛星配置図 (Satellite configuration diagram)
  - 色設定 (Color settings)
- Buttons at the bottom: GPSデモモード開始 (Start demo mode), OK, and キャンセル (Cancel).

[COM ポート設定]の詳細はお使いのデバイスのマニュアルを参照し、必要に応じて変更してください。

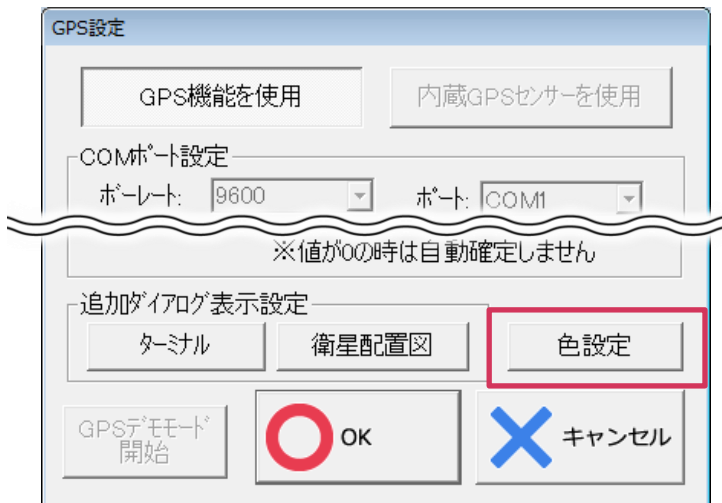
その他の設定は以下の通りです。

- **GPS 機能を使用** : on にすると画面に GPS アイコンを表示。アイコンで GPS の on/off 切替が可能
- **内蔵 GPS センサーを使用** : on にするとタブレットに内蔵されている GPS を使用
- **データ取得設定** : GPS データを何秒ごとと取得するか設定
  - **GGA タイプの選択** : GPGGA、GNGGA、GLGGA の 3 つから選択  
※ユーザーの外付け GPS に合わせて変更が必要
- **データ自動確定設定** : GPS ポイント / ポリライン作成の際に、データの受信回数に応じて自動で確定する回数

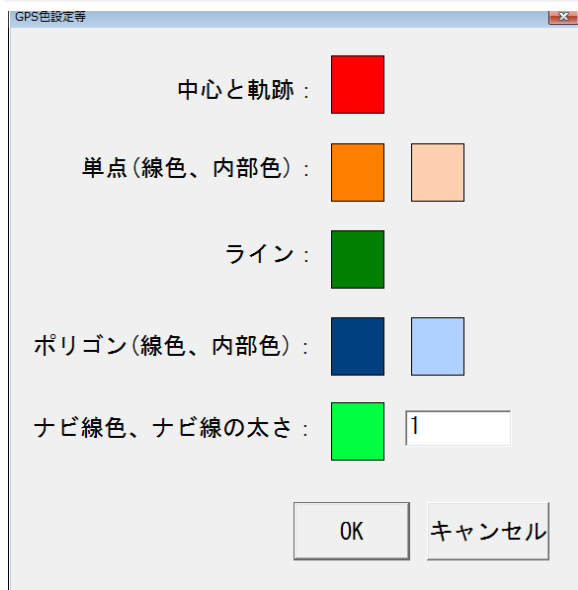
- **追加ダイアログ表示設定**
  - **ターミナル** : GPS 情報の表示
  - **衛星配置図** : GPS を取得する衛星の配置図
  - **色設定** : GPS 接続中に表示する色を設定 (→[6.2.1 GPS 色設定手順](#))
- **GPS デモモード開始** : GPS がどのように動くかをデモンストレーションとして確認

### 6.2.1 GPS 色設定手順

1) 設定/GPS> [GPS 設定]で、[GPS 設定]ウィンドウを開きます。



2) [色設定]を選択し、[GPS 色設定等]ウィンドウを開きます。



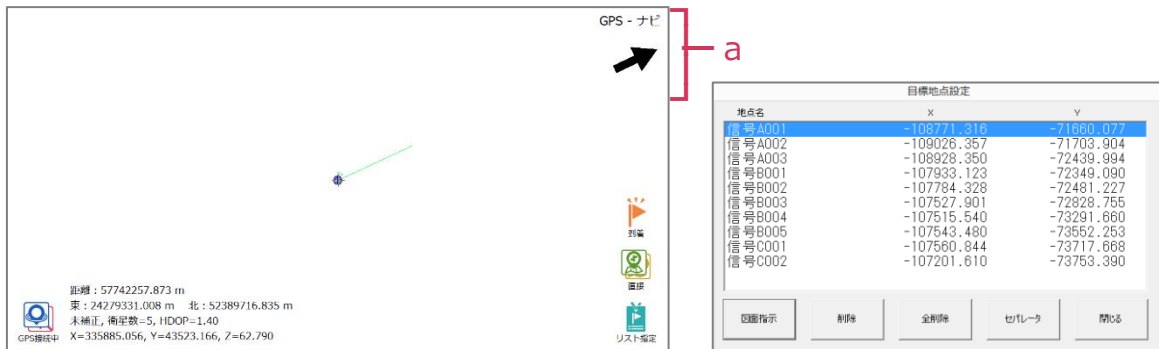
### 3) カラーを設定します。

カラーボックスを選択すると、カラー設定ウィンドウが表示されます。  
任意のカラーを設定し、[OK]を選択します。



## 6.3 GPS ナビ

[設定]メニュー>[GPS ナビ]で、GPS ナビの設定を行います。  
目的地までの経路をナビすることができます。



- **a** : 目標地点への方角を表示。距離が近づくと赤で表示
- **到着** : ナビ表示終了。次の地点がある場合は、次の地点に切り替え
- **直接 / 直接(スナップ)** : 目標地点をタップで直接指定。[直接(スナップ)]ではオブジェクトにスナップして指定が可能
- **リスト指定** : リストで目標地点を設定。連続した地点の登録可能
- **図面表示** : タップした地点をリストに追加
- **削除 / 全削除** : リストの地点を削除
- **セパレータ** : 選択した地点を空白にする



## 第7章 [計測]メニュー

### 7.1 距離/面積

[計測]メニュー> [距離]/[面積]で、計測できます。

- **距離**： 距離を計測。タップで始点と終点まで距離を計測
- **面積**： 面積の計測。タップで始点から終点までの面積を計測

## 第8章 [カメラ]メニュー

### 8.1 カメラ

[カメラ]メニューでカメラ付きタブレットの場合、カメラを起動できます。

撮影した写真は、ポイントに関連付けて登録することができます。関連付けた写真はポイントをダブルタップすると確認できます。

#### 写真の登録

---

- **既存ポイント選択時の撮影**： 選択しているポイントに、関連付ける写真を登録
- **未選択時の撮影**： 写真撮影後、関連付ける新しいポイントの場所を指定し登録

#### 写真の保存場所

---

開いているデータの同階層に、[ScanTablet]フォルダ内を自動で作成し、その中に保存します。

[ScanTablet]フォルダ内の[original]フォルダには、ScanSurveyTablet 上で加工していない元のデータを保存しています。

# ScanSurvey Tablet ユーザーガイド

---

本ソフトウェアの複製、及び本マニュアルの複製、転記することを禁止します。

本ソフトウェア及び本マニュアルを運用した結果については、責任を負いかねますので予めご了承ください。

本マニュアルに掲載している画面表示につきましては、一部異なる場合がございますので予めご了承ください。

本マニュアルの内容について、将来予告なく変更する場合があります。

2016年3月

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及び、その他の国における登録商標です。

その他記載されている会社名、製品名は、各社の商標及び登録商標です。

---

2016年3月18日 初版発行(Ver.1.0.0.0)

2018年7月26日 第2版発行(Ver.1.0.2.5)

The developer is the "Be System Co., Ltd." of Sapporo, Hokkaido, Japan.

We hope this software be spread around the world.

